

このようなときに、
喉突き事故が
起きています。



(1歳4か月、洗面所)

歩きながら歯みがきしていて、
歯ブラシをくわえたまま、顔から転倒した。



(2歳11か月、洗面所)

歯みがき中よそ見をして、台からすべり落ちた。



(2歳1か月、居間)

歯みがき中にふざけて姉とぶつかり、
歯ブラシがのどにささった。



(1歳8か月、居間)

ソファから落ちて、くわえていた歯ブラシが
喉に刺さりそうになった。

病院？ 救急車？ 迷ったら

救急相談・医療機関案内

東京消防庁救急相談センター

☎ #7119

つながらない場合は、

23区 ☎ 03-3212-2323

多摩地区 ☎ 042-521-2323

東京都では、「病院へ行ったほうがいいのかな？」
「救急車を呼んだほうがいいのかな？」など迷っ
た際の相談窓口として、「東京消防庁救急相談セ
ンター」を開設しています。

※東京都以外にお住まいの方は事前に最寄りの相談窓口
を確認しておくとう安心です。

事故の再発防止や製品の安全性向上のため、事故の
情報や危険を感じた情報などを消費生活相談窓口や
製造事業者へ情報提供をお願いします。

●東京都消費生活総合センター

相談専用電話 ☎ 03-3235-1155

●消費者ホットライン ☎ 188 (いやや!)

消費者ホットラインは、全国共通の電話番号で、地方公共団体
が設置している身近な消費生活相談窓口につながります。

祖父母やお子様のいる
お知り合いにも、
歯みがき中の事故の
危険性をお伝えください。



お問合せ先

東京都生活文化局消費生活部生活安全課

☎ 03-5388-3055

平成28年度
登録(28)75

乳幼児の 歯みがき中の 喉突き事故に 注意!



全日本ブラシ工業協同組合、日本チェーンドラッグストア協会、(公社)全国消費生活相談員協会、
(公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会、NPO法人子育てひろば全国連絡協議会、
(特非)キッズデザイン協議会、(公社)日本小児歯科学会、(国研)産業技術総合研究所、
(独)国民生活センター、経済産業省、消費者庁、東京消防庁、東京都生活文化局

入院になった事故事例



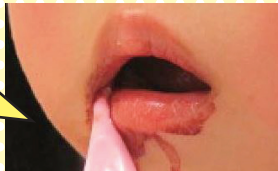
歯ブラシをくわえたまま椅子から転倒した。歯ブラシが二つに折れ、先端が口の中に刺さった（1歳、入院）。

歯ブラシを口に入れたまま歩き回り転倒した。転倒時にタンスにぶつかり、喉に歯ブラシが刺さっていた（2歳、5日間入院）。



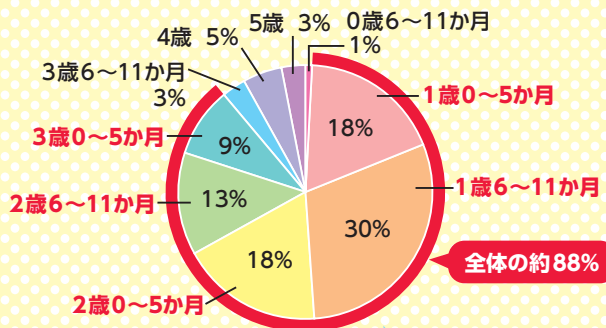
症例

頬部に歯ブラシが刺さったまま来院した（1歳児）



写真：消費者庁、(独)国民生活センター公表資料(平成25年3月28日)

事故の多い年齢



1歳から3歳前半で多く事故が起きています。

平成28年度東京都商品等安全対策協議会での事故事例分析

子供を事故から守るために



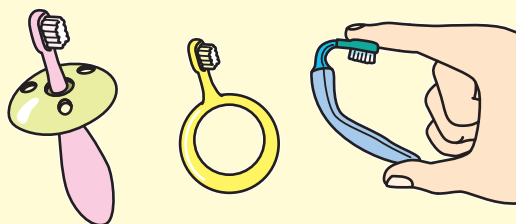
保護者の見守りの中で、
床に座って歯みがき
しましょう！

立っているより座っている状態の方が、
転倒時の受傷リスクを低減できます。



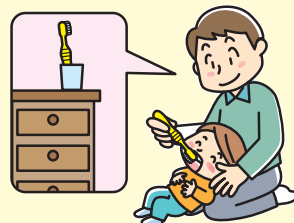
喉突き防止対策を施した歯ブラシを
使いましょう！

事故の危険性の高い3歳前半までは、喉に突き刺さりにくい
歯ブラシや喉の奥に入りにくい歯ブラシを使いましょう。



保護者が仕上げみがきで使用する
歯ブラシと使い分けをしましょう！

幼児期の子供自身の歯みがきは、習慣付けとして大切ですが、
清掃効果は不十分です。仕上げ用歯ブラシを使って、保護者が
仕上げみがきをしましょう。目的にあった歯ブラシを選択することが大切
です。仕上げ用歯ブラシは子供に持たせたり、子供の手が届くところに置
かないようにしましょう。



歯みがきを行う場所、
生活環境を見直しましょう！

居間

⚠️ **ソファから転落に注意！**

ソファなど不安定な場所での
歯みがきはしない。

⚠️ **クッションなどでの
つまずき・転倒に注意！**

子供の動線に物を置かない。



⚠️ **兄弟姉妹との衝突に注意！**

動き回らない、周囲に注意する。

洗面所

⚠️ **踏み台からの転落に注意！**

洗面台に届かない場合は、うがいを
するときだけ踏み台を使用し、歯
ブラシを口にくわえず、置いてから
踏み台に乗る。



寝室

⚠️ **布団などでのつまずき・転倒に注意！**

うがいをするため場所を移動するときは、
歯ブラシを口にくわえたま
ま、又は、持たせたまま歩
かせない。歯みがきが終
わったら、歯ブラシは保護
者が片づける。



※歯ブラシだけでなく、箸やフォークなど、喉突きの危険性のある日用品
も、口に入れたまま遊んだり、歩いたり、走ったりしないようにしましょう。

- 幼児期の子供にとって歯みがきは、日常生活の習慣付けにおいて大切です。
- 子供の事故を予防するには保護者の見守りは大切ですが、子供はちょっとしたすきに予期しない行動をするので見守りだけでは事故を防ぐのは困難です。
- 生活環境の見直しや子供の発達段階に応じた歯ブラシを使用することでリスクを低減しましょう。